

「周産期における深部静脈血栓症の診断と管理」に関する研究

1. 研究の対象

2012年1月1日から2017年10月31日の間、当院で出産された方

2. 研究目的・方法

肺血栓塞栓症は妊産婦死亡の原因となり、多くは深部静脈血栓症に起因するため深部静脈血栓症の早期発見は重要です。D-dimerの血中濃度は静脈血栓症のマーカーとなりえますが、妊娠中は非妊娠時と比較してD-dimerの血中濃度が高値になることが知られています。妊娠中のD-dimerの血中濃度と静脈血栓症の関連は明らかではありません。本研究では妊産婦におけるD-dimerの血中濃度と静脈血栓症発生の関連性について調査します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料:血液

情報:年齢、妊娠・分娩経過、分娩様式、新生児情報、カルテ番号等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

防衛医科大学校 産科婦人科学講座 講師 宮本守員

〒359-8513 埼玉県所沢市並木3-2

電話：04-2995-1511（内線2363）FAX：04-2996-5213

研究責任者：防衛医科大学校 産科婦人科学講座 教授 古谷 健一